

Title	東北大学附属図書館狩野文庫蔵「尚徳堂書目」所収孝経異本目次：翻字並解題
Sub Title	List of the variant editions of Kokyo (孝経) in the Shotokudo catalogue in the Tohoku university library, with transcription and bibliographical notes
Author	大沼, 晴暉(Onuma, Haruki)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1996
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.31 (1996.) ,p.249- 272
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	平澤五郎教授退職記念論集 資料紹介
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000031-0249

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

東北大学附属図書館狩野文庫蔵「尚徳堂書目」所収

孝経異本目次

— 翻字並解題 —

大 沼 晴 暉

凡 例

- 一、本書は東北大学附属図書館狩野文庫蔵「尚徳堂書目」に附された「孝経異本目次」を翻字したものである。
 - 一、翻字はなるべく原本のおもかげをとどめることに努めたが、字体の制約上原本そのままの形はとっていない。
 - 1、漢字は新旧別体を生かし、類似の字体で翻字した。
- 2、仮名は通行体を用いた。
- 3、字詰・字配りや字の大きさは、活字の制約のため必ずしも原本通りとはなっていない。例えば、解題に記した如く原本では七格の書名欄に八字の書名を入れる場合小書にして七格に収めているが、本翻字では、書名に八字分の欄をとっている等である。
 - 一、此翻字の希望をお認め下さった東北大学にあつく御礼申上げる。

孝經異本日次

板本

①	古文孝經	慶長 八七月年	孔安國傳 清原秀賢跋	活版	全
②	古文孝經	同 七年	孔安國傳	活版	全
③	孝經大義	寬永 四五月年			全
④	孝經	正保 八四月年			全
⑤	孝經列傳	承應 正二月年		中野市右衛門板	七卷 貳册
⑥	孝經註解	同 上同		同上	全
⑦	孝經大義	同 七三月年		中村長兵衛板	全
⑧	孝經刊誤	明曆 四二月年		京都 武村市兵衛板	全
⑨	孝經外傳	同 上同	山崎嘉著	同上	全

⑩	孝經大義	頭書	同	正三月年		奧付小異	全部
⑪	孝經見聞抄	假字	萬治	二三月年	林道春著	松長伊右衛門板	三卷 壹册
⑫	古文孝經諺解				林羅山口授	西村又右衛門板	三卷 三册
⑬	孝經		寛文	二八月年		京都 谷口三餘板	全
⑭	孝經纂註		同	九四月年	貝原元端纂註	長尾平兵衛板	全
⑮	大和孝經		同	十二四月年			六册
⑯	孝經大義		同	五五月年		長尾平兵衛等板	全
⑰	孝經大義	頭書	同	七春年			全
⑱	增註孝經大義		同	五八月年	松庵片朴元著	西田爾弓齊板	三卷 三册
⑲	孝經大義講草鈔	假字	同	九九月年		京都 上村次郎衛門板	六册
⑳	孝經集傳		同	十九一月年	明黄道周輯	唐本屋宇兵衛板	四卷 貳册

③	孝經大義	同	九十月年	大坂 松村九兵衛板	全
③	孝經大義證解	延寶	十五年	江戸 林門松浦默著 戸島惣兵衛板	四卷 貳册
③	孝經大義	貞享	元年	道春點 栗山宇兵衛板	全
④	孝經大義	同	六月年	京都 小都誓願寺前 小河多左衛門板	全
⑤	孝經大義詳解	同	八月年	京都 芦川桂正柳著 村上勘兵衛板	四卷 貳册
⑥	古文孝經	元祿	八月年	孔安國傳 大坂 油屋與兵衛板	全
⑦	孝經刊誤集解	同	九月年	京都 中村揚齊著 武村新兵衛板	全
⑧	孝經示蒙句解	同	五月年	同上 京都 武村新兵衛板	全
⑨	同上	同	同上	同上 京都 菊屋七郎兵衛板	全
⑩	孝經唐玄宗八分	寶永	三年	中村詩林堂板	三册
⑪	孝經大義詳略大全	正德	四月年	洛下毛利貞齊輯 書肆錢屋儀兵衛	貳册

③	孝經安知鈔	假字	享保	三年	江戶 勝田祐義編	三卷
③	孝經釋義便蒙	假字	同	三年	京都 茨城多左衛門板	三卷
④	孝經便蒙附纂		同	六年	同上	貳卷
⑤	古文孝經		享保	四年	博士清原尚賢跋	全
⑥	孝經		同	十七年	孔安國傳 太宰純音	全
⑦	今文孝經		寶曆	三年	鄭註 讚岐良芸之句	全
⑧	孝經音義		同	七年	唐陸德明撰	全
⑨	孝經述		同	六年	東都 赤松弘著	全
⑩	孝經集說		同	九年	井上金峨撰	全
⑪	孝經刊誤		同	九年	田口正胤書	全
⑫	孝經集說		明和	四年	井上金峨撰	全

江戶
藤水久市等再板

江戶
和泉屋吉兵衛板

江戶
風月堂
莊左衛門板

京都
堺屋嘉七板

江戶
紫芝園板

④三	孝經指解補註	同	二五月年	信濃 南宮岳著	京都 田中市兵衛等板	全
④四	古文孝經國字解	同	八七月年	山本信有撰	小林新兵衛板	貳卷 貳册
④五	孝經集覽	安永	正四月年	山本信有撰	奚疑塾板	貳卷 貳册
④六	古文孝經國字解	同	十五月年	武都 勝田祐義編	大坂 柏原屋佐兵衛購板	三卷 三册
④七	孝經	同	正七月年	太宰本	小林新兵衛新板	全
④八	孝經	同	二七月年	信濃 冢田多門註	小林新兵衛板	全
④九	翻刻 古文孝經序跋	天明	八元月年		嘉靖堂板	全
⑤十	孝經童子訓	同	五元月年		京都 山本長兵衛板	全
⑤一	古文孝經	同	十元月年	孔安國傳 清原宣條板	江戸 小林新兵衛板	全
⑤二	孝經直解	同	同上	尾張 松平君山著	名古屋本町 藤屋吉兵衛板	全
⑤三	古文孝經	同	三二月年	太宰本	知不足齋叢書本 小林新兵衛翻刻	全

附
古文孝經

宋本

④ 古文孝經國字口義

同

五
四月年

棚倉
文學菅敬勝著

小林新兵衛板

全

⑤ 古文孝經解

同

九
六月年

孔傳
阿州道齊著

監憲齊板

全

⑥ 孝經

同

十
六月年

平林三岳書

小林新兵衛板

全

⑦ 孝經

同

六
年

司馬光指解

小林新兵衛板

全

⑧ 古文孝經和字訓

天明

八
正月年

塚田多門訓

小林新兵衛板

全

⑨ 玄宗御註孝經補義

同

八
六月年

篠山侯補

丹波
篠山振德堂板

全

⑩ 古文孝經參疏

同

八
七月年

片山兼山講授
山中祐之輯

小林新兵衛板

三卷
壹册

⑪ 孝經

同

八
九月年

東江書

小林新兵衛板

全

⑫ 孝經大義

同

八
十一月年

大坂
河内屋八兵衛板

大坂
河内屋八兵衛板

全

⑬ 孝經小解

同

上同

熊澤了海著
介

江戸
西村源六等板

貳册

④	古文孝經國譯	寬政十一年	江戸松本廉安譯	門人藏板	全
⑤	孝經刊誤集解	同上	中村惕齋著	小林新兵衛板	全
⑥	神儒佛三法孝經口解	三年夏	鄭註 尾張河村益根序	豆州 円通山板	貳册
⑦	孝經	十三年十一月	尾張河村益根序	大坂 泉本八兵衛等板	全
⑧	孝經	四年正月	清任兆麟集註	小林新兵衛再板	全
⑨	古文孝經正文	四年九月	太宰純訓點	時習館板	全
⑩	孝經外傳	五年七月	村瀬櫟岡著	尾州 永樂屋東四郎板	全
⑪	孝經鄭註	五年秋	尾張岡田挺之序	伊東金藏板	全
⑫	藍田先生孝經講義	六年五月	東龜年著	伊東金藏板	全
⑬	古文孝經解詁	六年六月	五溪平龍著	由巳堂板	全
⑭	孝經餘論	十九年十二月	武藏 豊島幹撰	由巳堂板	全

⑤	較定孝經	同	九年	山本信有較	明道館板	全本合
	附 孝經擷說					
⑥	孝經御註譯義	同	十年	甲陽平景敬譯	甲斐鶴郡 渡邊角右衛門板	全
⑦	同上	同	十年	同譯	京都 河南儀兵衛板	全
⑧	古文孝經 <small>弘安本</small>	同	十一年	孔安國傳	佚 <small>(ママ)</small> 付叢書第一帙	全
⑨	孝經御註	同	十二年 壬四月	阿波 佐野憲校	京都 堺屋伊兵衛板	全
⑩	御註孝經 <small>道遙 院本</small>	同	十二年 五月	尾代 <small>(ママ)</small> 弘賢摸刻		全
⑪	古文孝經 <small>足利本</small>	同	十二年 夏	足利山本龍校訂	小林新兵衛板	全
⑫	孝經印譜	享和	二年	和州 高取侯著	遊焉館板	五册
⑬	孝經孔序直解	同	同上	江戸 日比文校	借樂堂板	全
⑭	標說孝經	同	二年 三月	孔傳 太宰音 洪井太室標說	米澤 好生堂板	全

⑤	古文孝經解 <small>假字</small>	同	十二月	金勝仙解	小林新兵衛板	全
⑥	孝經鄭註補訂	文化 <small>元十二月</small>	十二月	下総 窪木清淵補訂	下総 窪木氏板	全
⑦	御註孝經 <small>石經本</small>	同	八月	明沈准撰	小林新兵衛板	壹帖
⑧	孝經會通	同	八月	菅原為德校	京都 河野信成板	全
⑨	御註孝經	同	五月	江戶 朝川鼎考定	學古塾板	全
⑩	古文孝經定本	同	三月	江戶 朝川鼎考定	江戶 葛屋重三郎板	全
⑪	孝經假名附	同	六月	大坂 河内屋太助等板	大坂 河内屋太助等板	全
⑫	經典餘師孝經	同	七月	江戶 朝川鼎著	小林新兵衛板	貳卷 貳册
⑬	古文孝經私記	同	八月	大槻清準訓點	養賢堂板	全
⑭	孝經刊誤	同	八月	下総 窪木清淵著	江戶 西宮弥兵衛等板	全
⑮	補訂鄭註孝經	同	八月	下総 窪木清淵著	江戶 西宮弥兵衛等板	全

⑨六	繪本孝經	同	春十年	江戸 蕙齊画	尾張 片野藤四郎等板	全
⑨七	孝經鄭氏解	同	九十一月	清洪頤煊補證 上総東條弘増攷	尾張 片野藤四郎等板	全
⑨八	孝經鄭註	同	十二年	尾張 岡田挺之校	官板 知不足齋叢書本翻刻	貳册
	附 孝經鄭註補證			清洪頤煊著		
	孝經鄭氏解輯			清臧鏞堂述		
⑨九	古文孝經講釋	同	夏十二年	小林文由錄	小林新兵衛板	貳卷 貳册
⑩〇	經典餘師孝經	同	五十二年		江戸 山盛堂板	全
⑩一	指解 校本 古文孝經	同	八十二年	尾張 神埜世猷校	尾州 片野東四郎等板	全
⑩二	古文孝經證話	同	九十三年	女護島高閔慎撰		全
⑩三	合刻四書 孝經	文政	八元月	上毛 片山世璠訓點	江戸 西村宗七板	全
⑩四	國字孝經	同	十元月	龜田興序		全

⑤	孝經宗旨	同	二月	明羅汝芳著	小林新兵衛板	全
	附 孝經引證			明楊起元纂 江戶嵯峨山如山校		
④	古文孝經 <small>弘安本</small>	同	十六年	阿部正精跋		全
③	孝經考文	同	七月	尾張 永井襲吉訂正		全
②	御製孝經	同	十九年	唐玄宗註	宋板 狩谷求古樓重彫	全
①	孝經發揮	同	九年	伊勢 津坂孝綽著	有造館板	全
①	孝經國字解	同	十年	信濃 伊藤祐義忠岱著	仰繼堂板	全
③	古文孝經	同	十二年	孔傳 山子點 太宰音	小林新兵衛板	全
③	孝經正文	同	三十三年			全
③	孝經兩造簡字 <small>字板</small>	天保	元年	東條弘著		全
④	待問錄 <small>孝經 字板</small>	同	同	東條弘門人輯	龍麟館板	全

⑤	孝經集傳	同	四年六月	紀伊山本惟孝著	紀州帶屋伊兵衛等板	全
⑥	孝經義 假字	同	五年	明德館祭酒 金順天著		貳卷貳册
⑦	增補孝經彙註	同	四年六月	明江元祚刪輯 大鹽後素增補	大坂河内屋吉兵衛板	三卷三册
⑧	孝經韵語圖解	同	十六年十一月	蕨驛醫 岡田静安著	松響園板	全
⑨	孝經傍訓	同	八年正月	越前三國直準述	一洗堂板	全
⑩	古文孝經正文	同	八年六月	朱熹鑒定 大坂鈴木定寬句讀	大坂鹽屋弥七再板	全
⑪	古文孝經	同	十年	信濃山田文靜附錄	活字慶長本翻刻	全
⑫	孝經通	同	十一年	越前蒔田貞註	京都木村吉右衛門板	貳卷貳册
⑬	孝經 正文	同	十三年		鹿兒島府学改正板	全
⑭	孝經識	弘化	元年	物茂卿著	甘雨亭叢書第四集	全
⑮	孝經啓蒙	同	八年元月	中江藤樹著	同第五集	全

㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫	㊬	㊭	㊮	㊯	
孝經	孝經童子訓	孝經刊誤集註	古文孝經攝字註	古文孝經	孝經刊誤	孝經	古文孝經 頭書	孝經纂義	孝經	古文孝經
安政	同	同	同	嘉永	同	同	同	同	同	同
五五月年	九六月年	九四月年	六四月年	二三月年	四十二月年	三十二月年	冬三年	十二月年	七二月年	三二月年
山崎嘉點		仙臺氏家顯述	温齊綾部侯著	市川三亥書		菅家音訓 柴門一桂跋	孔安國傳 出羽伊藤馨著	江戶 中江豐民著	孔傳 太宰音 江戶小畑行簡訂	孔氏傳 正二位清原宣條校
大坂 前川源七郎求再板	京都 俵屋清兵衛等再板	新瀉常善堂板		薩摩府学板	會津藩板		京都 学半楼板	明善堂板		伏原家板
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
								貳卷 貳册		

⑤	④	③	②	①	④	③	②	①	③	②	①
同上	古文孝經	古文孝經略解	古文孝經正文	孝經講義	孝經刊誤	古文孝經 正文	孝經參釋	孝經	孝經	古文孝經標註	古文孝經標註
同	同	同	同	同	同	明治	慶應	元治	同	同	同
十四年	二十三年	十七年	四五年	十三年	六月年	十二月年	四年	二月年	同上	正七年	正七年
同上	綽堂校本	細野栗齋著	片山改點	岡山藩督学 安藤道集說			魯齊川碕履著	小畑行簡譯		片山世璠標註	孔傳 太宰音
東京 文永堂翻刻	東京 小泉堂翻刻	文光堂板	京都 遠藤平左衛門寺板	五明館板		京都 田中屋專助板	尚志堂板	詩山堂板	水戸 彰考館板	小林新兵衛再板	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

④	同上	十四年十一月	同上	東京芳潤堂翻刻	全
⑤	古文孝經	十四年十一月	太宰純訓點	小林新兵衛五刻	全
⑥	古文孝經	十五年一月	静岡縣士族家里隆藏訓解	東京高山堂板	全
⑦	古文孝經略解	十五年五月	渡井量藏註釋	甲府徵古堂板	全
⑧	古文孝經	十五年十一月	橋爪貫一訓點	東京觀光樓板	全
⑨	明治新註古文孝經校本	十六年一月	丹波関徳士順集註	大坂府出版	全
⑩	古文孝經標註	十六年五月	片山兼山註	小林新兵衛六刻	全
⑪	古文孝經解釋	十六年五月	松井方景編 櫻井省吾編	東京猶興社板	全
⑫	標註增補古文孝經	十六年六月	鵜飼静麿編	東京金港堂板	全
⑬	古文孝經標註	十六年十一月	標註高木熊三郎	大坂筑城勇助板	全
⑭	龜頭古文孝經纂註	十六年十一月	孔傳 備後五十川左武郎纂	大坂欽英堂板	全

⑤	古文孝經評註	同	上同	孔傳 董鼎大義 後藤松陰評註	大坂 清水兵之助板	全
⑥	古文孝經簡解	同	上同	埼玉縣 二宮喜久衛解	埼玉 開産商社板	全
⑦	諺解古文孝經	同	十七年 六月	大槻東陽編	松月堂板	全
⑧	標註 訓點 古文孝經	同	上同	綿引泰著	東京 文選樓板	全
⑨	古文孝經標註	同	十七年 十一月	宮城縣士族 土生柳平標註	目黒氏板	全
⑩	孝經講釋	同	十七年 十二月	熊澤遊軒講釋 大塩中齊參釋	山中市兵衛翻刻	貳冊
⑪	今文孝經	同	十七年 十二月	唐玄宗註 橋村正璟標註	金港堂出版	全
⑫	孝經講義	同	十八年 四月	内藤耻叟講述	斯文学會製	全
⑬	大字 古文孝經	同	十九年 五月	妻有巳之輔訓點	播州 五車堂板	全
⑭	孝經纂註校本	同	十九年 十月	加賀金澤 田中正義著	石川縣平民 觀文堂池善平板	全
⑮	孝經定本	同	廿一年 七月	松本豊多著	松本氏板	全

① 傍註 孝經定本

同 廿六年四月

讚岐 牧野謙著

東京 青山清吉板

全

② 孝經滴解

同 廿六年五月

丹波多紀郡 大石貞質著

全

③ 孝經

同 廿六年夏

成瀬正雄題字

全

④ 孝經講義

同 廿七年三月

東京 高橋省三講義

學齡館板

全

⑤ 古文孝經講義

同 廿七年三月

東京 松井方景講述

東京 井上勝五郎板

全

⑥ 孝經講義

同 廿七年十月

東京市 深井鑑一郎講述

東京 伊藤岩次郎板

全

⑦ 考訂孝經

同 廿九年五月

京都 山本章夫著

京都 讀書室板

全

⑧ 孝經塾本

同 同上

京都 谷鐵臣錄

京都 枕易齋板

全

⑨ 孝經

同 三十年六月

枚首載水戸烈公序 青山勇跋

尚德堂板

壹枚

以下出版年月不詳

⑩ 孝經啓蒙

中江藤樹註蓋係初板者

全

①十三經註疏孝經

西堀川唐本屋吉左衛門發行

三册

②孝經白文

太輪廓

全

③孝經

玄宗註○養賢堂板○卷尾云
江川弥三郎彫

全

④孝經白文

卷首有福山文庫印

全

⑤孝經白文

越前福井帶屋喜平治板

全

⑥古文孝經正文

由学館蔵有封内必究朱印

全

⑦同上

由学館蔵有封内必究朱印○
板異於前者

全

⑧音註正文古文孝經

京都三條通升屋勘兵衛板

全

⑨古文孝經正文

卷首云嵩山房梓而本文所刻
可疑

全

⑩孝經正文

卷首云開宗間居曾子侍坐

全

⑪古文孝經正文

新本入帙

全

①九 新鑄改正 孝經 正文

活字本每葉折目有倭板無點四字

全

①二 古文孝經 正文

大澤氏藏板源道安讀子道賢校孫喜謹刻

全

①三 古文孝經外傳

廣陵齊叔子大禮輯

全

①四 孝經證

女護島高閔慎輯○萬壽堂板

全

①五 縮刻唐石經孝經

卷首有翠竹書堂藏書朱印

全

①六 孝經

晉王羲之草書○江府日本橋通小川彦九郎等板

全

①七 孝經

奧州塩竈人集王羲之書

全

①八 孝經

卷尾云廬山寺藏板施本

全

①九 古文孝經 正文

蓋係沼津小学校用者

全

②百 孝經

蓋係沼津小学校用者

全

計貳百部 貳百四拾五册 貳百六拾叁卷

解題

東北大学附属図書館狩野文庫蔵 尚徳堂書目 (青山雷

巖)編 写(寄合書) 半一冊

後補薄小豆色空押卍つなぎ「東北帝国/大学図書」浮出表紙

(二四・〇×一六・五糎)。本文共紙元表紙左肩「尚徳堂書目

全」と書さる。「一 第一函 日本書紀/第二函 史記/……

/九三 板本孝経」と上下二段に分ちて目録二丁あり。内題な

く「〇(朱丸)第一函」と題し、題下小字双行にて「以下第拾

函ニ至ル迄ハ門外不出トシテ他借ヲ許サズ不/得已他借ヲ許ス

時ハ必ス証書ヲ取置ク可シ」と注記、欄脚に朱書にて「丑」と

書さる。次行「日本書紀 拾五冊/古事記 上中下/旧事

記 五 冊/……」の如く収蔵書記さる。双辺(一九・七×

一四・五糎)有界十二行三十字詰の白口朱刷野紙に書写され、

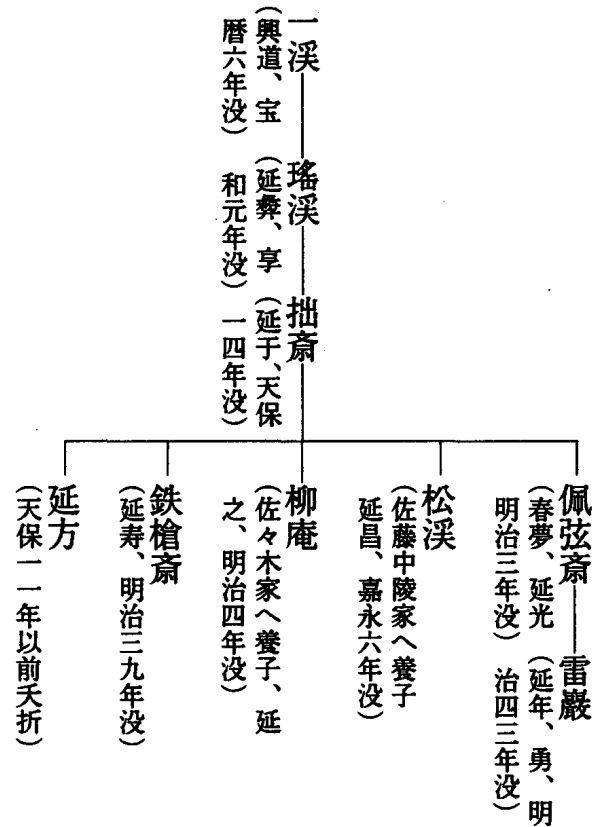
版心下象鼻表丁に丁付が記されている。丁付は「五五―六十」

と跳丁あり、「六六」は無く、「百一」丁迄。第八七丁より「〇

法令全書拾貳冊」(目録には「八七 法令全書」とあり)、第八

八丁より、末に「総計百五十七巻」と計量する「〇小笠原流諸礼秘
巻目次」(目録には「八八 礼書之巻」とあり)のコレクショ
ンを附し、第九三丁より本論集に翻字せる「孝経異本目次」九
丁附さる。「孝経異本目次」末に「計貳百部 貳百四拾五冊
貳百六拾参巻」と孝経異本計量さる。乃ち孝経板本二百点の目
録である。なお「異本」は正しくは「異板」とすべきである
う。

本書は第四函が「瑤谿先生手写」「以下至……皆係拙齋先生
手写」、第五函が「瑤谿先生手写」「以下至……多係拙齋先生手
写」「以下至……多係春夢先生手写」、第六函が「大抵係拙齋先
生手写」「以下至……悉係拙齋先生手写」、第七函が「函中悉係
春夢先生手写」、第八函が「以下至……係一溪先生手写」「以下
至……係瑤谿先生手写」「以下至……係拙齋先生手写」「以下至……
係春夢先生手写」「以下至……大抵皆係春夢先生手写」等とあ
る如く、一溪(興道)瑤谿(一溪養子・延彝)拙齋(瑤谿男・
延子)春夢(拙齋長男佩弦齋・延光)と続いた水戸藩儒の名家
青山家の雷巖(佩弦齋男・延年)に至る代々の伝世書目である
う。さればこそこれら先祖の自著手写本書入本を主に収納する
第拾函迄が門外不出の書とされた訳である。



本蔵書目は函号を記すのは第拾式函迄で、第十丁の論語以下
 函号は空格となつている。目録中の数字は丁数で、五六―五九
 は目録にも著録されず、第五五丁裏は末二行を残しているので
 欠丁ではないように思う。第六五丁は末一行、第六七丁は首一
 行が空格だが、該書は「孝経異本目次」は異なるものの、原則と
 して始終の一行を空格とするので、これは欠丁の可能性もある
 かも知れない。因みに此項は「拙齋先生抄書 先世手抄」と目録
 に題されている。

青山家は佩弦齋の所用と云われる巻物型の「水戸青／山氏蔵」
 と陽刻された朱の蔵書印が知られ、代々の蔵儲も秀れたもので
 あつたが、如何んせん蔵書は散じ、現今もままその蔵印ある書
 を諸所で目にする事が多い。なお青山家旧蔵本は国立国会図書
 館にかなりまとまつて収蔵されている。これらは雷巖死没直後
 の明治四十四年、大正元年の入蔵である。本年表に著録された
 孝経類の大半は書目と共に狩野亨吉氏の手に戻したのは幸であつ
 た。

本書は第十丁より朱筆にて○○(点墨)等と函号の眉上に標
 記されている。本書中に銘記された最も刊年の下るものは、明
 治卅二年四月、前田直行者、野村宗十郎板「加賀藩史纂」であ
 る。

本目は刊年・著者・出版者を記すは稀で(写本はただ写とす
 るものが多い)、殆どは書名と冊数を著録するに過ぎない。た
 だ目録で示せば、第十丁よりの論語、第十一丁周易、第十二丁
 孔子家語・小学、第二六丁延子等の著作である皇朝史畧・国史
 紀事本末、第二七丁太平記・常山紀談、第二八丁泰平年表、第
 四十丁白石年譜、第四五丁不二山、第六四丁山陽詩抄(刊年の
 み記載)、第六九丁鈴録、第七八丁十八史畧、第七九丁五雜俎、

第八十丁古文前集、第八一丁陽明要書、第八二丁詩人玉屑等を含む同類書の記載はやや詳しく為されている。

巻末に附された幾つかのコレクションのうち「孝経異本目次」と題された九丁は出色のもので、孝経一七八点を慶長七年八月から明治三十年六月迄刊年順に排した年表とし、尾に「出版年月不詳」の二二点、計二百点を著録した孝経板本一覽表である。書式は書名（七格）、一格空けて刊行年月（四格）、年月小字双行）、一格空けて編著者（七格、小字双行）、一格空けて出版地・出版者（六格、小字双行）、一格空けて冊数（二格）となっており、眉上には一から二〇〇（丸印朱印）の通し番号が附されている。再板・求板・五刻・六刻等刊の同異や、「板異於前者」「太輪廓」等同種のもので他と異なる標識を見出すべく、仲々苦勞している様子が注記として随所に見受けられる。

実は年表の掉尾を飾る一七八番「孝経」がこの蔵書目の素性を明らかにしてくれる。棗枚刷で枚首に水戸烈公の序を載せ、青山勇の跋が備わる明治三十年六月尚徳堂の刊行に係る此書が、乃ち本蔵書目の蔵儲者尚徳堂青山雷巖の刊行した「孝経」なのである。

本年表で得られる新知見を一例せば、一三八番群書治要鄭注

本「孝経」は私の調査では未だ刊記あるものを見ないが、本書ではその刊年を安政七年正月とする。これは地元しかも自家の關係した彰考館の刊本だけに信憑性があるう。

東北大学附属図書館狩野文庫は様々な分野の豊庫であるが、書誌書目についても実に多くのものを蔵している。これはとりも直さず旧蔵者狩野亨吉氏の志と資質とを如実に示すものである。本書も青山家の蔵書目として全文を翻字する価値があるが、今回は附載される「孝経異本目次」に限って翻字した。本目は恐く最も早い時季の孝経目録であろう。

個人の蔵書家は書買に立寄り目星しいものがない時薄冊で何処にでも転っていた孝経をおあいそに購い、そのうち鮑魚の肆興を覚え段々と深みにはまり蔵儲を殖やしてゆくことが多かつたらしい。儒者・コレクターに亦古書肆にも何人か孝経を蒐める人々があつた。その主要なものについては「斯道文庫論集」第十四輯の「江戸時代刊行成立孝経類簡明目録」、同二十一輯「孝経目録補遺並江戸時代孝経刊行年表」で触れた。

他に未確認ながら古書肆では京の春和堂若林正治氏、大阪の清和堂石川留吉氏の蔵儲がある。後者は林秀一氏の編になり、田結莊金治氏蔵本を加え昭和九年七月九日大阪書林倶楽部に於

て展観せられ、刊本三一八点（刊年順、自寛永五年至昭和八年二七五点、以下刊年未詳）、以下写本至三三〇、朝鮮本・唐本至三四二に林氏蔵本一五点を加え、「孝経展観目録」として刊行されている。

本年表に苦辛著録された夫々の、刊印修の詳細・実態・板木の異同等は、前記「斯道文庫論集」所収の目録を御参照頂きたい。当時の書誌学の力が実感されるのではないかと思う。

江戸時代 刊行成立 孝経類簡明目録補遺

なお此機会に、前述の「斯道文庫論集」所収の二目録に洩れた、其後管見に入った「孝経」を補記しておく。記述は「江戸時代孝経類簡明目録」の凡例に準じ、番号は前稿目録の著録されるべき場所の前の番号に補の字を加えた。23補とあれば、23番と24番の間に分類されるべき本であることを意味する。

95補は狩野文庫に二部あるが、前回借出されて見るを得なかったもの。その一は「水戸青／山氏蔵」の印が鈴され、まさに本年表に著録された書そのものである。これには「西嶋／氏記」の蔵印もあり、蘭溪等代々の儒家に襲蔵されたものであろう。

139補は高橋智氏の厚意により手にしたものである。

23補 孝経 太宰〔春台〕（純）校 弘化四年一月刊

（花巻 南涼園堀内謙蔵蔵版） 中一冊（木活）

④孝経／漢 魯人 孔安国伝／日本信陽 太宰純音 ⑤単有6

行12字。黒口 ⑥孝経終 ⑧弘化四丁未孟春吉旦／盛岡花巻／

南涼園活字蔵版／（隔一行）／堀内謙蔵蔵書 ⑨岩手県立図書館

95補 古文孝経卷第一（孝経孔序直解） 隋劉炫撰 日

比東湖（文）校 享和二年二月刊（江戸 日比氏借楽

堂蔵板） 大一冊

①孝経孔序直解 ②江戸東湖先生校／孝経孔序直解／借楽堂蔵

梓 ④古文孝経卷第一／隋 劉炫直解 日本江都 日比文校／

古文孝経序……／孔安国…… ⑤双有9行18字小双。白口。上象

鼻に「古文孝経序」。魚尾下に「卷之一 朋来舎蔵」 ⑧日比

平蔵校／享和二年壬戌春二月／荏土借楽堂蔵梓 ⑨狩

139補 孝経 （江戸後期）刊（京 文華堂北村太助）半

一冊

① ④孝経 ⑤無無6行8字。版心「孝 丁付」 ⑥孝経終

⑧廣告書目／京都書林 文華堂 五条橋通高倉東入 北村太助

⑨家蔵